

研究課題「炎症性腸疾患と気道壁肥厚の関連の探索研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

- ・2006年1月1日から2016年12月31日に潰瘍性大腸炎・クローン病で当院外来通院中で、この期間に胸部CT撮影をされた方
- ・2006年1月1日から2016年12月31日に「胸部異常影」のため受診され、胸部CTを撮影したが、精査や経過観察が不要となった方

2. 研究目的・方法

潰瘍性大腸炎やクローン病といった炎症性腸疾患患者さんには、気道疾患（喘息、COPD、気管支拡張症など）の合併がみられるという報告がありますが、合併率など詳しいことはわかっていません。そこで今回我々は、炎症性腸疾患患者さんの気道疾患合併の可能性について、胸部CTを用いた気道壁厚の測定により調べる計画をたてました。これまでに、胸部CTによる気道壁の肥厚が、喘息患者さんの重症度やCOPD患者さんの肺機能と関連しているという報告があることより、この方法を用いることにしました。

具体的な方法は、2006年1月1日から2016年12月31日に潰瘍性大腸炎・クローン病で当院外来通院中で、この期間に胸部CT撮影をされた方の胸部CTより解析ソフト（Zinostation ver2.1.x）を用いて気道壁を測定し、同時期に「胸部異常影」のため受診され、胸部CTを撮影したが、精査や経過観察が不要となった方の気道壁と比較することで、炎症性腸疾患患者さんの気道疾患合併の可能性について調べます。また、診療情報から得られる肺機能や血液検査、炎症性腸疾患の重症度などの臨床情報との関係についても調べます。

この研究の研究期間は、2017年3月1日から2020年12月31日までを予定していません。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

この研究に用いる試料はありません。この研究に用いる情報として、年齢、性別、胸部CTによる気道壁厚、胸部CT所見、大腸・小腸等の病理所見、血液検査所見、薬物治療歴、肺機能検査所見、喫煙歴、既往歴等があります。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋市昭和区鶴舞町 65

名古屋大学医学部附属病院 呼吸器内科 若原恵子（研究責任者）

（電話 052-744-2167、ファックス 052-744-2176）